

2023年5月30日

京都府知事
西脇隆俊様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

南丹・美山地域の医療保障後退の危機への迅速な対応を求める

平素より京都府民の医療・健康増進の施策にご尽力賜りますこと、心より御礼申し上げます。

さて京都府保健医療計画上、へき地診療所に位置付けられる「南丹市国民健康保険南丹みやま診療所」をめぐって「存続危機」と言うべき事態が持ち上がっています。

貴職におかれましては、美山地域の医療保障後退の危機に対し、迅速な対応を求めます。

【要請項目】

- 一、南丹市国民健康保険みやま診療所について、地域医療に対する情熱を持ち、地域住民からの支持も厚く、ほとんど休むこともなく人々の診療に従事してきた医師がこの度、辞職を表明するに至ってしまった経緯について早急に事実関係を調査・把握すること
- 二、同診療所について、少なくとも現行の診療体制を維持できるよう、同医師の慰留も含め、至急医師確保対策に取り組むこと

【要請理由】

南丹市国民健康保険みやま診療所は、2021年4月よりそれまでの医療法人による経営から南丹市直営に移行した。当時、私どもは「京都府がへき地診療所に積極的やくわりを果たすよう求める意見書」を貴職に提出し、「南丹市の直営化は歓迎、直営化に伴う機能縮小は懸念」との見解を表明したところである。

しかしこの度、所長を務める医師が退職を表明し、診療所の存続が危ぶまれる事態が起こった。

同診療所は京都府保健医療計画上の「へき地診療所」であり、その地域は人口減少と高齢化が進み、医療資源の乏しい地域である。その地においてこれまで同診療所は初期救急をも担ってきた生命を守る砦となっている。

貴職は府内のへき地医療に重大な責任を負う立場から、至急に事実経過を確認し、直ちに診療継続に向けた対応をとっていただきたい。

以上